



The Real You

本心

2024, 122 min, English subtitles

Director: **ISHII Yuya**

Cast: IKEMATSU Sosuke, MIYOSHI Ayaka, TSUMABUKI Satoshi, TANAKA Yuko

【ネタバレ注意】

私の小説が原作の映画『本心』を、ここ英国で上映する機会に恵まれ、とても幸福に感じています。

『本心』は、朔也という貧しい青年の物語です。

彼は、シングル・マザーの母親と二人暮らしをしています。幾つものテーマが複雑に絡み合った小説ですが、中でも大きなテーマは二つあります。一つは、朔也が、亡くなった母親をAIで蘇らせようとする、ということです。現在では、実際にそれをビジネス化した企業が日本や韓国、中国といった東アジアの国々に実在していますが、私が『本心』を執筆し、発表した2019年から20年にかけては、まだ、ChatGPTも存在せず、これはまったく非現実的で、奇妙なアイデアと受け止められました。

これには、私の私的な経験が反映されています。

私は、一歳の時に、父親を亡くしています。そのため、私には、父の記憶がまったくありません。私にとって、父はただ、残された写真と、家族から聞かされる逸話を通じてのみ知り得る存在でした。つまり、遺影は、父の存在そのもののように重要でした。

遺影の歴史を振り返りますと、最初は油絵などの絵があり、次いで写真が登場しました。その後、ビデオによって、動く姿や声も、死後に残すことができるようになりました。そうしたメディアは、亡くなった人を懐かしみ、思い返す上で、非常に重要な意味を持っています。そして、メディアの発展を考えるならば、次にはインタラクティブな遺影が登場するのではないかと考えました。会話を交わすことができる遺影というわけです。

これが、AIで亡くなった人を再現するというアイデアの発端でした。

もう一つは、「自由死」という考え方です。今日、世界では、安楽死を巡る議論が活発になっています。ただし、それが合法化されている国でも、投薬による積極的な安楽死は、治療の術がない病気であること、苦痛が甚だしいことなど、幾つかの厳密な条件が課されています。しかし、近未来の日本を舞台とするこの架空の物語の中では、「自由死」は、そういった条件を一切必要とせず、ただ個人が、自分の好きな時に、自由な意志により、命を絶つことができる制度と設定されています。果たしてこれは、受け容れられる考えでしょうか？

実は、朔也の母親は「自由死」を望んでいました。そのことが、彼に大きなショックを与えます。彼はAIの母とのコミュニケーションを通じて、彼女の「本心」を理解するのでしょうか？ 人間とAIとは、一体、何が違うのでしょうか？

残念ながら、本作はまだ英語に翻訳されていません。率直に言いますと、この映画は、原作とは別物と言って良いくらい異なっています。

Dates & Venues	<i>NB: Dates may vary</i>
11 February – 20 March Aberystwyth Arts Centre, Aberystwyth	16 February – 2 March Macrobert Arts Centre, Stirling
7 February – 28 March Brewery Arts Cinema, Kendal	6 – 8 February Manchester Film Weekender, Greater Manchester
6 – 12 March Broadway, Nottingham	20 – 26 March Midlands Arts Centre, Birmingham
14 February – 15 March Chapter, Cardiff	9 February – 28 March Phoenix, Leicester
10 February – 23 March Chichester Cinema, Chichester	1 – 31 March Picturehouse @ FACT, Liverpool
1 – 31 March Cinema City Picturehouse, Norwich	5 – 26 March Plymouth Arts Cinema, Plymouth
1 – 31 March City Screen Picturehouse, York	15 February – 29 March QUAD, Derby
23 February – 11 March Depot, Lewes	7 February – 28 March Queen's Film Theatre, Belfast
20 February – 22 March Dundee Contemporary Arts, Dundee	18 – 27 February Riverside Studios, London
7 – 28 March Exeter Phoenix, Exeter	16 February – 26 March Showroom Cinema, Sheffield
12 – 19 March Filmhouse, Edinburgh	8 – 25 February Storyhouse, Chester
7 February – 29 March Firstsite, Colchester	8 February – 15 March The Dukes, Lancaster
12 February – 10 March HOME, Manchester	2 – 26 March The Phoenix Cinema, Kirkwall (Orkney)
8 February – 3 March Hyde Park Picture House, Leeds	10 February – 3 March The Ultimate Picture Palace, Oxford
6 – 15 February Institute of Contemporary Arts (ICA), London	10 February – 30 March Tyneside Cinema, Newcastle upon Tyne
14 February – 28 March Jesus College/Panorama, Cambridge	16 February – 17 March Warwick Arts Centre, Coventry
6 March – 27 March Leigh Film Factory, Greater Manchester	7 – 17 February Watershed, Bristol

Major Supporter



Sponsors in Kind



Clearspring Pentel

Cultural Partner



近い将来に、原作が翻訳され、映画と比較することが出来る日が来ることを願っています。どうぞ、上映をお楽しみください。

平野 啓一郎
『本心』 著者

Copyright belongs to the Japan Foundation. You may not copy, reproduce, distribute, modify, or distribute any part in any form without permission. Any errata are the responsibility of the Japan Foundation.